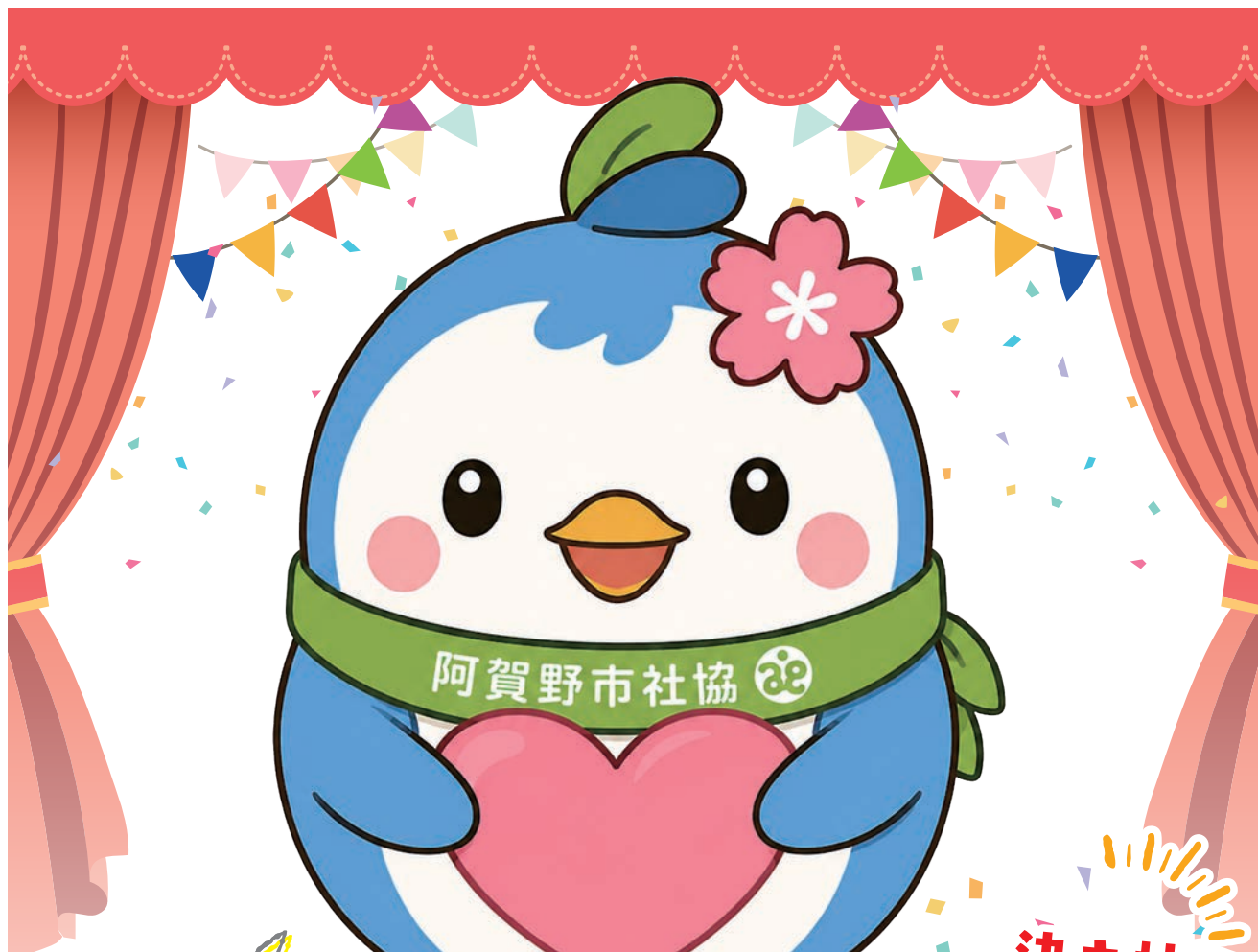


福祉あがの

令和8年7月15日発行

発行：社会福祉法人
阿賀野市社会福祉協議会



名前は
あがのん
です!!

あがのんプロフィール

- なまえ あがのん
- 性格 やさしくて、あったかい
- 好きなこと おしゃべり お出かけ
- あがのんからのメッセージ

これからたくさんお出かけして、みんなに会いに行くよ♪

社協マスコット
キャラクター
決定



令和8年度 阿賀野市社会福祉協議会事業計画書

事業計画

基本理念

「お互いさま」といえる 共に生き 共につくる 福祉社会を目指すまちづくり

基本方針

本会は地域福祉団体として、上記の基本理念を掲げ、行政、地域住民及び福祉団体との協働により、各種事業を展開しながら地域生活課題の解決に取り組んできました。

しかしながら、少子高齢化や社会構造の変化により、地域のつながりの希薄化が進むなか、家庭や地域の扶助機能が低下し、介護や子育てに関わる問題や貧困、引きこもりなど人々が生活する上での課題は複雑かつ複合化しています。

さまざまな生活課題を抱えた人たちが住み慣れた地域で自分らしく暮らしていくためには、引き続き地域支え合い活動を通じ、行政はじめ関係機関と連携しながら「地域共生社会」の実現を目指し取り組みを進めます。

また、介護が必要な人や障がいのある人への制度事業にも取り組み、支援を行います。

重点目標

1 全体のマネジメントを適切に行います

- ①経営基盤の強化と事業の見直しを行います。
- ②事業実践の情報発信と事業評価を行います。
- ③職員一人ひとりが組織の一員としての強い使命感と役割を認識し、事業を推進します。
- ④指定管理者制度により管理運営を行っている施設については、利用者目線に立った安全安心な運営に努めます。

2 地域に根差した支え合いの仕組みを進めます

- ①住民同士の助け合い活動を推進します。
- ②地域内でのあいさつや声かけ、見守り活動を推進します。
- ③身近な地域の範囲で、地域の実情に合った福祉活動を推進します。

3 自分らしく生活を送るために福祉サービスの充実を図ります

- ①ひとり一人の人権が尊重され、住み慣れた地域や自宅で生活できるよう支援を行います。
- ②地域で安心して生活できるように日常生活自立支援事業を推進します。

4 介護保険サービス・障がい福祉サービス・相談サービスを充実します

- ①住み慣れた地域や自宅で自分らしく生活を送るため、その人の状態やニーズに合わせて介護保険・障がい福祉・相談サービスを提供します。

収支予算

	科 目	予 算 (円)		科 目	予 算 (円)
収 入	会費収入	4,009,000	支 出	人件費支出	321,323,000
	寄付金収入	50,000		事業費支出	81,307,000
	経常経費補助金収入	77,686,000		事務費支出	37,354,000
	受託金収入	39,437,000		就労支援事業費支出	4,584,000
	貸付事業収入	500,000		貸付事業支出	500,000
	事業収入	1,217,000		助成金支出	638,000
	介護保険事業収入	225,282,000		固定資産取得支出	650,000
	就労支援事業収入	4,584,000		ファイナンス・リース債務の返済支出	686,000
	障害福祉サービス等事業収入	96,856,000		積立資産支出	13,000
	その他の事業収入	36,000		その他の活動による支出	22,069,000
	受取利息配当金収入	113,000			
	その他の収入	260,000			
	その他の活動による収入	17,992,000		支 出 合 計	469,124,000
	収 入 合 計	468,022,000		当期資金収支差額	△1,102,000

令和7年度 阿賀野市社会福祉協議会事業報告

<法人運営事業>

1. 会務の運営
理事会(5回)、評議員会(3回)、監事会(4回)、訪問監査(4回)の開催
2. 福祉関係者の顕彰
阿賀野市社会福祉協議会表彰(1名、1団体)
3. 役職員の研修
内部研修：認知症研修 他
外部研修：介護職のためのアンガーマネジメント研修 他
4. 自主財源の造成
一般会員 8,890世帯(65.0%)
特別会員 5団体/10□
10施設/11□
49事業所/74□
賛助会員 121個人/121□
5. 行政機関・関係福祉団体との連絡調整
阿賀野市地域福祉計画並びに地域福祉活動計画を踏まえ「共に生き共につくる福祉社会」の実現のため所轄庁、関係機関、団体の主催する各種委員会・協議会等に出席するなど多職種との連携、連絡協議に努めた。
6. 外郭団体への支援
阿賀野市老人クラブ連合会・阿賀野市身体障害福祉協議会・阿賀野市手をつなぐ育成会・阿賀野市連合遺族会の活動支援
7. 啓発活動の強化
第75回新潟県民福祉大会の参加
社協だより「福祉あがの」の発行、社協広報事業(ホームページ)の実施
8. 共同募金活動の強化
実績額 8,375,850円(達成率89.0%)
9. 「地域の集いの場」サロン活動の推進
住民が主体となって行う、地域住民が気軽に立ち寄れる居場所(サロン)の運営支援
10. 災害救援活動の支援
新発田青年会議所との災害時相互協力協定の継続
阿賀野市との災害ボランティアセンターの設置、運営に関する協定の継続
阿賀野市ライオンズクラブとの災害ボランティアセンター支援に関する協定の締結

<配食サービス事業>

年間実施回数：51回 利用者：71名

<生活福祉資金貸付事業>

相談件数：2件 ※いずれも利用なし

<小口資金貸付事業>

貸付件数：4件

<生活困窮者自立支援事業>

相談支援、支援調整会議の開催、内部研修の開催など(相談受付件数 64件)

<福祉サービス利用支援事業>

日常生活自立支援事業の実施(利用者 8名)

<法人後見事業>

法人後見事業の受任(保佐類型 1名)

<ボランティアセンター>

ボランティアセンターの開設
ボランティア活動の支援
(登録ボランティア 64グループ、登録実人数 1,800名)

<通所介護事業>

デイサービスセンター「むすびの里」
(延利用者 4,770名)
デイサービスセンター「第二むすびの里」
(延利用者 7,997名)
デイサービスセンター「第二わかばの里」
(延利用者 8,490名)

<訪問介護サービス>

ヘルパーステーション「ぬくもり」
(実利用者 352名)
※保険外サービス(利用者 22名)

<障害者居宅介護サービス>

自立支援
身体障害者(実利用者 4名)、知的障害者(実利用者 24名)、精神障害者(実利用者 37名)
地域生活支援(実利用者 58名)

<こどものことばとこころの相談室>

通所支援(延利用者 1,340名)
放課後等デイサービス(延利用者 172名)
保育所等訪問支援(延利用者 17名)
相談支援(計画相談 232名、モニタリング 118名)

<阿賀野市さくらの会作業所>

就労継続支援B型事業の経営(1日当たり平均利用者 14.3名)
利用者が個々の能力を伸ばせるよう働く場の提供
(自主製品販売活動、外注加工事業、若葉町草刈りなど)

<地域活動支援センター どれみハウス>

地域で暮らす障がいのある方の余暇活動を楽しむ憩いの場の提供(延利用者 1,438名)

<保健福祉センター京和荘>

老人福祉センター(延利用者 2,276名)
生きがいセンター(延利用者 11名)
公民館(延利用者 14,232名)

令和7年度 阿賀野市社会福祉協議会財産目録

【財産目録】

令和8年3月31日現在 (単位: 円)

資産・負債の内訳	金額
1、資産の部	
流動資産	
現金預金	83,393,873
事業未収金	44,631,630
貯蔵品	23,316
原材料	140,627
立替金	2,444,877
前払金	672,716
仮払金	12,400
流動資産計	131,319,439
固定資産	
基本財産	
建物	2
定期預金	4,000,000
基本財産計	4,000,002
その他の固定資産	
建物	1,854,100
構築物	1
車輛運搬具	1,606,334
器具及び備品	1,169,574
有形リース資産	1
長期貸付金	140,000
退職手当積立金預け金	238,781,820
修繕費積立資産	800,000
備品等購入積立資産	500,000
工賃変動積立資金	500,000
設備等整備積立資産	1,000,000
事業運営安定資金積立資産	50,115,198
預託金	138,730
その他の固定資産計	296,605,758
固定資産計	300,605,760
資産合計	431,925,199

資産・負債の内訳	金額
2、負債の部	
流動負債	
事業未払金	18,084,726
1年以内返済リース債務	685,080
未払費用	8,475,633
預り金	255,963
職員預り金	4,912,070
前受金	3,000
流動負債計	32,416,472
固定負債	
リース債務	285,450
退職給付引当金	288,958,600
固定負債計	289,244,050
負債合計	321,660,522
差引純資産	110,264,677



【貸借対照表】

令和8年3月31日現在 (単位: 円)

資産の部				負債の部			
科目	当年度末	前年度末	増減	科目	当年度末	前年度末	増減
401 流動資産	131,319,439	141,237,337	△ 9,917,898	411 流動負債	32,416,472	42,586,005	△ 10,169,533
402 固定資産	300,605,760	330,150,205	△ 29,544,445	412 固定負債	289,244,050	326,107,800	△ 36,863,750
001 基本財産	4,000,002	4,000,002	0	負債の部合計	321,660,522	368,693,805	△ 47,033,283
002 その他の固定資産	296,605,758	326,150,203	△ 29,544,445	純資産の部			
資産の部合計	431,925,199	471,387,542	△ 39,462,343	413 基本金	4,000,000	4,000,000	0
				414 基本	0	0	0
				415 国庫補助金等特別積立金	1,018,767	2,117,727	△ 1,098,960
				416 その他の積立金	55,164,312	55,118,248	46,064
				417 次期繰越活動増減差額	50,081,598	41,457,762	8,623,836
				純資産の部合計	110,264,677	102,693,737	7,570,940
				負債及び純資産の部合計	431,925,199	471,387,542	△ 39,462,343

※阿賀野市社会福祉協議会ホームページをご覧ください。



令和7年度阿賀野市社会福祉協議会 赤い羽根共同募金助成事業報告



阿賀野市社会福祉協議会では、赤い羽根共同募金より令和7年度の地域福祉推進事業費として6,496,840円の助成を受けましたので、その使途についてご報告いたします。

みなさまからのご協力で、各事業を行うことができました。大変ありがとうございました。

【高齢者福祉活動費 2,012,000円】

○配食サービス事業等…………… 2,012,000円



配食サービス（お弁当）

【障がい児・者福祉活動費 50,000円】



○多様性理解の研修会…………… 50,000円

【児童・青少年健全育成事業費 430,000円】

○ボランティア体験学習支援事業費…………… 75,000円
○小学校入学応援事業…………… 355,000円



黄色い体操着袋贈呈



高齢者疑似体験学習

【住民全般福祉活動費 4,004,840円】

○ボランティア活動支援事業…………… 160,000円
○県民福祉大会研修事業…………… 96,000円
○社協機関紙発行事業…………… 989,000円
○ボランティア通信発行事業…………… 827,000円
○行旅人旅費支援事業…………… 7,000円
○サロン活動推進事業…………… 515,032円
○地域ささえ愛事業…………… 505,000円
○介護教室開催事業…………… 34,000円
○災害対策事業…………… 410,000円
○おうちごはんプロジェクト…………… 461,808円



介護教室（いすヨガ）



「お互いさま」といえる共に生き共につくる福祉社会を目指すまちづくり 令和8年度 阿賀野市社協会員（会費）にご協力をお願いします。

阿賀野市社会福祉協議会（阿賀野市社協）は、「市民の主体的参加と協働によりお互いさまといえる共に生き共につくる福祉社会を目指すまちづくり」を基本理念として、市民の皆さまや関係機関との協同により地域福祉活動を推進しています。

皆さまにご協力をお願いする会費は地域福祉活動を推進する上で貴重な財源であり、ご協力いただいた会費は地域の課題解決に向けた事業や阿賀野市社協の運営費として活用させていただきます。

また、会員とは、一人ひとりが地域福祉を自らの活動として受け止め、地域福祉活動に間接的に参加していただいていると意味合いもありますので、ぜひ、この趣旨にご賛同いただきご協力をお願いいたします。

※自治会長様へは、7月31日付の文書にて会費の取りまとめについてお願いする予定です。

※会員に加入することや会費の金額については、決して強制ではなく任意です。

● 社協会員（会費）の種類 ●

一般会員	賛助会員（役員・篤志家）	特別会員（法人事業所・団体・福祉施設）
一世帯 500円	一口 1,000円	一口 3,000円

令和7年度社協会費の実績と使い道のお知らせ

会費実績 3,996,301円

一般会費	8,890世帯	3,590,301円
賛助会費	121個人	121,000円
特別会費	福祉団体 5団体 福祉施設 10施設 事業所 49事業所	285,000円

主な会費の使い道として

○いきいきサロン推進事業

高齢者や子育て世代の閉じこもりの防止や仲間づくり、生きがいづくりのための活動の支援

○社会福祉事業功労者表彰式

市内の福祉事業における功労者の表彰

○地域活動車輛維持費

貸出用マイクロバスの車検代・保険料・整備費等

○社協機関紙「福祉あがの」発行事業

ホームページ管理運営更新料

○法人運営費

市社協運営のための人件費以外の事務費と事業費

阿賀野市社会福祉協議会ってどんなところ？

皆さまに社会福祉協議会を知っていただくために取り組みを紹介していきます。

No.2 支援福祉課

支援福祉課は、障がい福祉サービス事業として「こどものことばとこころの相談室」「相談支援センターことはな」「就労継続支援B型事業所 さくらの会作業所」「地域活動支援センター どれみハウス」を運営しています。

こどものことばとこころの相談室 (障害児通所支援事業)

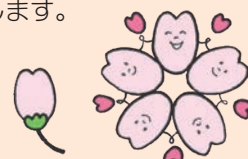
児童発達支援センター／放課後等デイサービス／
保育所等訪問支援

市内在住の0歳から小学3年生までのお子さんに合った支援（母子プレー支援、小集団支援、個別支援など）を行っています。また、行政、福祉、教育、医療とも連携を図りながらご家族をサポートしていきます。



相談支援センターことはな (障害児相談支援事業)

市内で0歳から18歳までの子育てをしている保護者の方やご本人の困っていること（ことばがゆっくり、落ち着きがない、園や学校に行きたがらない等）について相談を受けます。必要に応じて福祉サービスをご紹介します。



阿賀野市さくらの会作業所 (就労継続支援B型事業)

1人1人のペースに合わせて就労支援を行っています。基板解体やお菓子づくりなど様々な仕事に取り組んでいます。



地域活動 支援センター どれみハウス

住み慣れた地域で心あぐいこの場を提供しています。（いこの場の提供・創作活動）



社協のデイサービスセンターを 紹介します！



デイサービス センターって何？

デイサービスは、食事や入浴などの介護やリハビリを日帰りで利用することができます。

ご自宅までの送迎があり、レクリエーションを楽しんだりして一日を過ごします。

ご利用者の心身機能の維持向上や日常生活の援助を行うことで住み慣れたご自宅で元気に過ごす支援をするとともに、家族の介護負担軽減も目的としています。

社会福祉協議会では、阿賀野市からの指定管理で3カ所のデイサービスセンターを運営しております。

【むすびの里、第二むすびの里、第二わかばの里】

基本的な1日の流れ



オススメ

レクリエーション

春にはお花見ドライブ、夏にはお祭りなど…季節でのイベントの他、毎日のレクリエーションを通して交流を深めています。



機能訓練の様子

社協デイサービスでは、リハビリ専門のソフトを使い、利用者さんお一人お一人のリハビリメニューを作って毎日と取り組んでいます。



オススメ

日常生活自立支援事業

～住み慣れた地域で安心して暮らすために～

「通帳や、印鑑などの大切なものをどこにしまったかわからなくなる」
 「書類が送られてくるけど、何が大切なものかわからない」
 「年金や福祉サービスの手続きのやり方がわからない」



このようなお困りごとはありませんか？

日常生活自立支援事業は、認知症の高齢者や障がい者の方などが、住み慣れた地域で安心して生活できるようお手伝いする制度です。

利用できる方

★認知症高齢者、知的障がいのある方、精神障がいのある方などで、日常生活を送るうえで判断に不安のある方。

(阿賀野市社会福祉協議会と契約をしますので、ご本人が契約内容をご理解していただけることが必要です)

お手伝いの内容

- ★福祉サービス利用手続きのお手伝い
- ★日常のお金の出し入れのお手伝い
- ★大切な書類や印鑑などのお預かり

利用料金

契約前：訪問・相談・支援計画作成は無料です。

契約後：1回1時間1,500円＋生活支援員の交通費をいただきます。(1時間を超える場合は、30分ごとに750円)

書類等のお預かりサービスには、貸金庫の料金がかかります。

お問い合わせ先

阿賀野市社会福祉協議会 TEL：67-9203



生活のこと、仕事のこと、 ひとりで悩まず相談してみませんか？

(暮らしサポートセンターあがの のご案内)

暮らしサポートセンターあがのでは、暮らしの中の様々なお困りごとの相談を受付けています。
ひとりで悩まず、まずはご相談ください。

聴きます！日々の暮らしの困りごと（自立相談支援事業）

仕事、お金、家庭、健康などの生活の困りごと。「暮らしサポートセンターあがの」では相談員が解決に向けて一緒に考えます。色々な制度の窓口への同行も行います。

お金のやり繰り。見直してみませんか？（家計改善支援事業）

暮らしにかかるお金のやり繰りで困っている方を対象に、現状を見直しながら家計を一緒に考えます。定期的に相談を行いながら、家計の改善をサポートしていきます。

踏み出そう！はじめの一步（就労準備支援事業）

「社会との関わりに不安がある」、「他の人とコミュニケーションがうまくとれない」、「仕事の経験が少ない、ブランクがある」など、すぐに働くことが心配な方に、ボランティア体験や様々な講座に参加してもらいながら、就労に向けた基礎能力を高め、自信を持った就労活動ができるようサポートします。

連絡先

暮らしサポートセンターあがの（阿賀野市京ヶ瀬市役所内）

電話：67-9500 FAX：67-9204（受付：9時～17時 土日祝日休み）

メール：kurasapo-agano@zb.wakwak.com

募 集 「令和8年度 国土交通大臣認定 福祉有償運送運転者講習会／セダン等運転者講習会」を開催します

福祉有償運送を行う運転者を対象に、安全・安心な運行や、利用者の視点に立った運転方法等、基礎的な知識・技術を身に付けるための講習です。

■日 時 (1日目) 令和8年9月12日(土) 午前9:00～午後5:30
(2日目) 令和8年9月13日(日) 午前9:00～午後12:00

■会 場 保健福祉センター京和荘(阿賀野市姥ヶ橋1104番地)

■内 容 (1日目) 講義 (2日目) 演習

■定 員 30名

※定員を超えた場合、受講できない場合があります。あらかじめご了承ください。

■受講費 10,000円(受講決定後、指定口座にお振り込みください)

■申込期限 令和8年8月14日(金) ※期限前に定員に達した場合は募集を終了します。

■申込方法 EメールまたはFAXのみの受付

■その他 ・2日目の演習では車輛の運転、車イス介助体験等実技講習があります。

動きやすい服装・靴での参加をお願いします。また、雨天の場合でも屋外での実習を行いますので、雨具を準備ください。

・運転実技等実習は主催者が用意した福祉車両やセダン車両を使用します。

・参加申込書と開催要項など詳しくは、ボランティアセンターにお問合せいただくか、阿賀野市社協ホームページの「お知らせ」からご覧いただけます。

■修了証 2日間の講習全てを修了した受講者に発行します。

■申込・問い合わせ先 阿賀野市社会福祉協議会

TEL 0250-67-9203 MAIL kyougase.syakyou@aq.wakwak.com



(阿賀野市社協
ホームページ)

「ドライバーズクラブあがの」では運転ボランティアを募集しています。

活動内容

阿賀野市にお住まいで、一人で公共交通機関を利用することが困難な高齢の方や障がいのある方を、月1回から月2回程度、社会福祉協議会の車を使って送迎する活動です。活動日は、都合に合わせて調整します。

あなたも運転資格を活かしてボランティアしませんか

活動はボランティアセンターがサポートします。活動するには、国土交通大臣認定運転者講習の受講が条件です。なお、「ドライバーズクラブあがの」で活動できる方(市内在住、おおむね70歳方)は、今年9月に開催する講習会受講費10,000円の負担はありません。ぜひこの機会に活動を始めませんか。

第4回

阿賀野市社協職員の つぶやき

阿賀野市社協を
もっと知って
もらいたい!!

今回は地域福祉課職員の担当です。

今年の4月から新たに加わった仕事があり、覚えなければならないこと、慣れなければならないことが増えました。どうしたらよいものかと頭の中でグルグルと「一人会議」、時間があればスマホに動画、脳みそがオーバーヒートの毎日です。リラックスの方法として、昨今ではヨガや、瞑想(マインドフルネス)、短時間の昼寝など色々な方法が紹介されている中、特にきっかけはないですが、最近庭に生えている木を触るようになりました。触られる木の方はいい迷惑かもしれませんが自然の力は大了たもので、しばらく触れているとザワザワしていた心がスッと静まる感覚があります。木に触るに加えて土の地面に裸足で立つと効果倍増です。否応なしに情報にまみれ、頭がパンパンの現代社会で、人間にとって自然に触れるのは必要なことなのだと改めて気づかされます。(科学的な根拠があるかは分かりませんが良かったです)お試してください

研修のご案内

赤い羽根共同募金助成事業

生きづらさと共に歩む ～ひきこもりを理解し、支援するということ～

“ひきこもり”や“生きづらさ”という言葉
を耳にすることはありますか？

社会に出ることが怖かったり、人に会うことが怖かったりなどの理由から学校、職場、地域から孤立してしまい孤独感を感じている方がいます。

しかし、どんな事情があっても、その人がその人らしく生きていくには人それぞれ様々な価値観があることをお互いに理解していくことが大切です。

まずは、ひきこもりや生きづらさについて理解を深めてみませんか？



講師
村山 賢 氏
(NPO 法人
新潟ねっと代表理事)

■日時 8月28日(金) 14時00分～15時45分
※13時30分より受付

■会場 水原公民館 大講堂

■内容 生きづらさと共に歩む
～ひきこもりを理解し、支援するということ～

■締切 8月7日(金) までに下記へお申込みください。

■申込み・問合せ先

阿賀野市社会福祉協議会(担当: 関川) TEL67-9203

この機関紙は社会福祉協議会会費
並びに赤い羽根共同募金助成金で
発行しています。

発行 〒959-2123 新潟県阿賀野市姥ヶ橋669(阿賀野市役所京ヶ瀬支所内)

社会福祉法人 阿賀野市社会福祉協議会

TEL 0250-67-9203 FAX 0250-67-9204

福祉あがの、ボランティアグループ「うぐいす会」により音声訳されています。